

令和5年6月15日

令和4年における水難の概況

警察庁生活安全局生活安全企画課

1 概要

(1) 全国の発生状況

令和4年の水難は、

- 発生件数 1,346件 (前年対比-49件)
- 水難者 1,640人 (前年対比+15人)
うち死者・行方不明者
727人 (前年対比-17人)

であった。

このうち、中学生以下は、

- 発生件数 104件 (前年対比-15件)
- 水難者 198人 (前年対比+15人)
うち死者・行方不明者
26人 (前年対比-5人)

であった。

過去10年間の水難発生状況を見ると、年ごとに変動し、増減を繰り返している。

(2) 都道府県別の発生状況

都道府県別の水難発生状況をみると、最も多いのが沖縄県106件、次いで東京都84件、千葉県66件であった。

2 特徴

(1) 年齢層別

水難者のうち、高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者が830人と全体の50.6%を占め、65歳以上の者が524人と全体の32.0%を占めており、中学生以下が198人(12.1%)であった。

(2) 場所別・行為別(死者・行方不明者)

死者・行方不明者727人について、発生場所別にみると、多い順に

- 海 363人 (49.9%)
- 河川 245人 (33.7%)

であり、行為別にみると、多い順に

- 魚とり・釣り 186人 (25.6%)
- 作業中 46人 (6.3%)

であった。

中学生以下の死者・行方不明者26人について、発生場所別にみると、半数以上が

- 河川 14人 (53.8%)

であり、行為別にみると、最も多いのは

- 水遊び 11人 (42.3%)

であった。

3 水難の防止対策

水難を未然に防ぐためには、海や河川など、それぞれの自然環境の特徴を理解し、水難につながりやすい危険な場所、危険な行為などを知ることが重要であり、次に掲げる点に留意する必要がある。

○ 危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水（海）藻が繁茂している場所、水温の変化や水流の激しい場所、深みのある場所等の危険箇所を事前に把握して、近づかない。また、子供を危険箇所に近づけない。

○ 的確な状況判断

海や川に行く際には、事前に気象情報を把握し、風雨、落雷等の天候不良時や上流で雨が降っているなど、河川の増水のおそれが高いときには、釣りや水泳、中洲や河原でのバーベキューなどを行わない。

また、海においては、天候の変化や波の高さに注意を払い、海岸の地形や沖合で台風が発生しているなどにより、離岸流や高波が発生するおそれが高いときは、海に入らない。

また、体調が悪いとき、飲酒したときなどは、海、河川に入らない。

○ ライフジャケットの活用

釣りやボート等で水辺に行くときは、必ずライフジャケットを着用（体のサイズに合った物を選び、正しく着用）する。

○ 遊泳時の安全確保

- ・ 掲示板、標識等により「危険区域」と標示された区域内に入らない。
- ・ 遊泳区域を標示する標識、浮き等を移動し、又は損壊しない。
- ・ 遊泳区域以外の水域で遊泳しない。
- ・ 遊泳中、他人に抱きつくなどの遊泳上危険な行為をしない。
- ・ 遊泳に当たっては、水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳する。
- ・ 海水浴場として開設されていない場所は、監視員が不在であるなど安全が確保されていないため、開設の有無、監視員の存在等を確認する。

○ 保護者等の付添い

子供の水難防止のため、子供一人では水遊び等をさせず、幼児や泳げない学童等には、必ずライフジャケットを着用させ、その者を保護する責任のある者が付き添うなどして、目を離さないようにする。

注：％は、小数点以下第2位を四捨五入。（表3～8においても同じ。そのため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合がある。）

表1 概要

	平成25年		平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	総数	中学生以下																		
発生件数(件)	1,459	198	1,305	166	1,450	179	1,505	162	1,341	144	1,356	133	1,298	118	1,353	117	1,395	119	1,346	104
水難者(人)	1,639	244	1,491	223	1,635	230	1,742	217	1,614	206	1,529	193	1,538	190	1,547	176	1,625	183	1,640	198
死者・行方不明者	803	44	740	55	791	53	816	31	679	26	692	22	695	30	722	28	744	31	727	26
死者	786	41	722	54	780	53	797	31	654	26	679	22	674	30	708	28	721	31	714	26
行方不明者	17	3	18	1	11		19		25		13		21		14		23		13	
負傷者	287	62	271	51	314	44	313	54	323	53	301	53	285	50	255	32	275	30	248	33
無事救出	549	138	480	117	530	133	613	132	612	127	536	118	558	110	570	116	606	122	665	139

注:「発生件数(件)」の、「中学生以下」欄は水難者が中学生以下のみであった件数を示す。

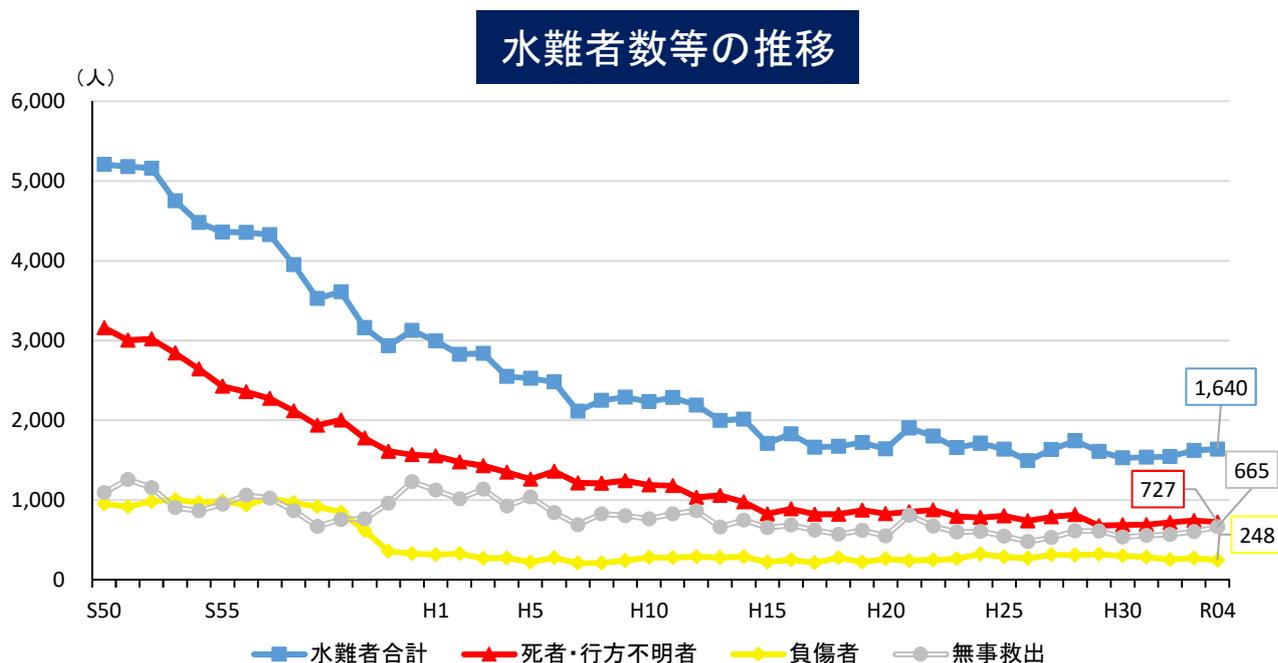
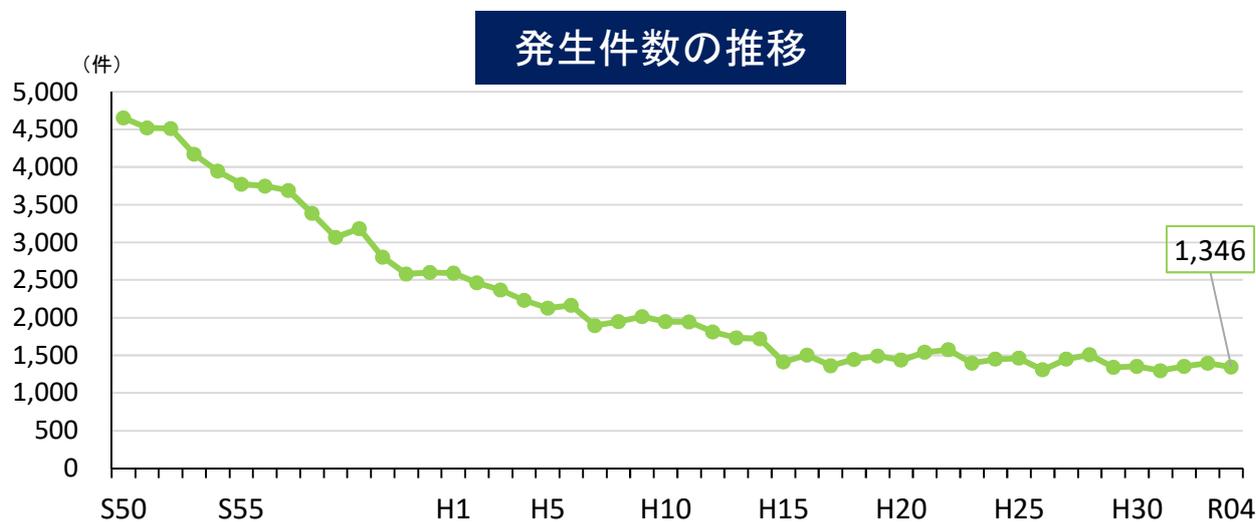


表2 都道府県別水難発生状況

(令和4年)

都道府県	発生件数(件)		水難者総数(人)									
		うち中学生以下	死者				行方不明者		負傷者		無事救出	
			うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下	うち中学生以下		
北海道	43	1	56	4	20				7	1	29	3
青森県	19	1	22	3	7	1			3		12	2
岩手県	14	1	14	1	8				3	1	3	
宮城県	19	2	19	2	8	1			6		5	1
秋田県	19	1	21	2	12				2		7	2
山形県	16	1	18	1	7				5		6	1
福島県	20		21		17				1		3	
東京都	84	2	90	6	71	2			3		16	4
茨城県	39	2	53	7	14				10	2	29	5
栃木県	11	1	13	2	6				1		6	2
群馬県	3		3		3							
埼玉県	33	6	35	7	19	1			6	4	10	2
千葉県	66	5	72	6	33	1			16	1	23	4
神奈川県	37	1	54	6	16		1		11	1	26	5
新潟県	45	2	56	6	23	1			6		27	5
山梨県	12		14		4				1		9	
長野県	9	1	12	3	5				1		6	3
静岡県	53	11	60	12	18	2	3		7	1	32	9
富山県	37	2	39	4	33				3	1	3	3
石川県	27	1	34	4	14	1			5		15	3
福井県	22	1	23	1	13				6	1	4	
岐阜県	50	4	66	8	20				4	1	42	7
愛知県	38	2	46	6	20				10	1	16	5
三重県	38	2	41	3	20	1			6		15	2
滋賀県	24	1	82	13	8	1	2		3		69	12
京都府	11	4	14	7	6	1					8	6
大阪府	19		19		19							
兵庫県	41	6	49	6	15	1			13	1	21	4
奈良県	6	1	6	1	4				1		1	1
和歌山県	29		29		18		1		6		4	
鳥取県	13		20		3				3		14	
島根県	27	3	35	3	13	1	1		4		17	2
岡山県	14	3	17	3	7	1			5	1	5	1
広島県	33	4	35	5	20	3	2		7	2	6	
山口県	9		10		5				3		2	
徳島県	10		11	1	5				4		2	1
香川県	14	1	18	5	11				1	1	6	4
愛媛県	17	2	25	4	7				1	1	17	3
高知県	31	1	41	8	20				5	1	16	7
福岡県	36	4	40	7	16	2			10		14	5
佐賀県	10	1	12	3	7	1			1		4	2
長崎県	26	1	26	1	13				4		9	1
熊本県	22	5	27	9	11	3			3	1	13	5
大分県	19	1	19	1	14		1		1	1	3	
宮崎県	23	3	23	3	13				3	1	7	2
鹿児島県	52	2	57	4	28				12		17	4
沖縄県	106	11	143	20	40	1	2		35	8	66	11
合計	1,346	104	1,640	198	714	26	13		248	33	665	139

表3 水難者の年齢層別数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
中学生以下	193	190	176	183	198	12.1%
未就学児童	49	54	44	50	45	2.7%
小学生	106	104	96	89	101	6.2%
中学生	38	32	36	44	52	3.2%
高校生又はこれに相当する年齢の者	47	43	55	59	42	2.6%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	756	790	761	791	830	50.6%
65歳以上の者	518	490	531	557	524	32.0%
不明	15	25	24	35	46	2.8%
合計(人)	1,529	1,538	1,547	1,625	1,640	

水難者の年齢層別構成比の推移

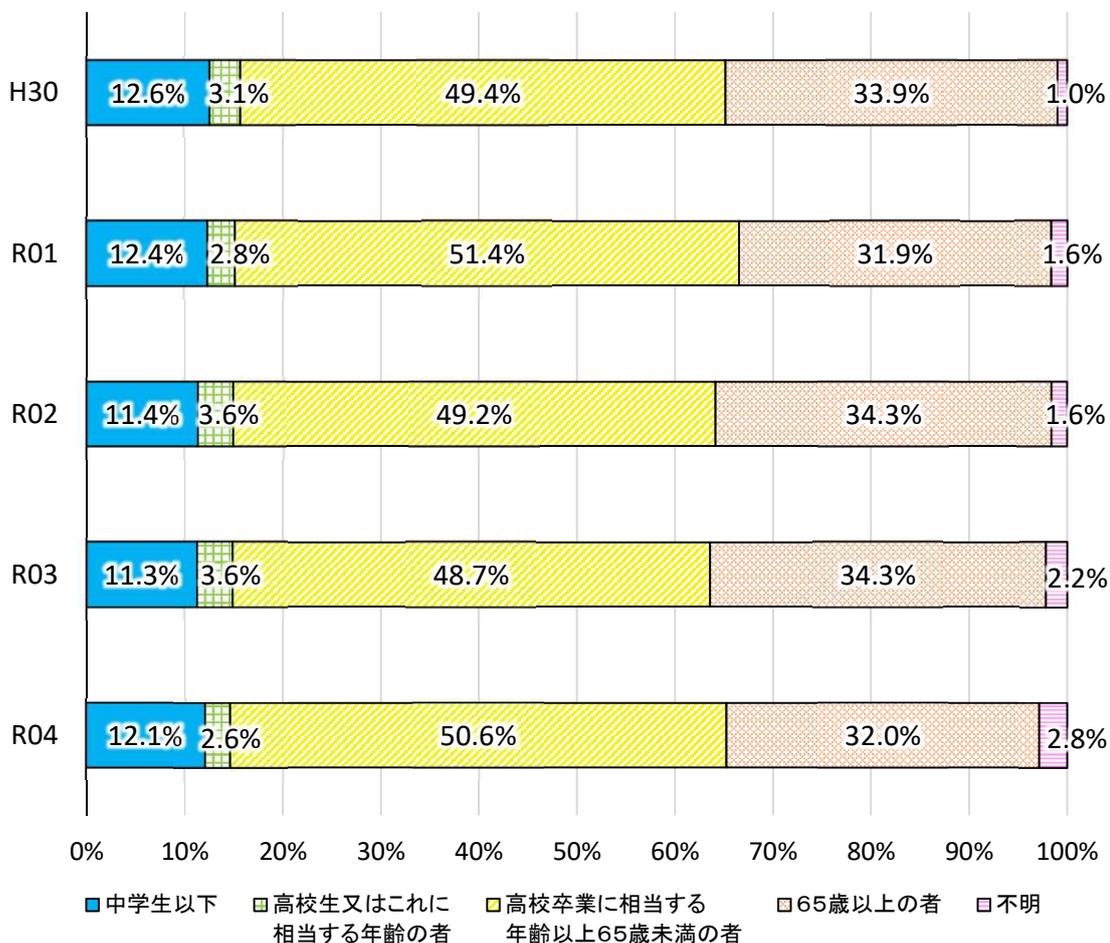


表4 死者・行方不明者の年齢層別数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
中学生以下	22	30	28	31	26	3.6%
未就学児童	6	7	5	8	5	0.7%
小学生	10	22	16	17	12	1.7%
中学生	6	1	7	6	9	1.2%
高校生又はこれに相当する年齢の者	17	15	16	13	10	1.4%
高校卒業に相当する年齢以上65歳未満の者	299	296	286	275	272	37.4%
65歳以上の者	339	329	369	390	373	51.3%
不明	15	25	23	35	46	6.3%
合計(人)	692	695	722	744	727	

死者・行方不明者の年齢層別構成比の推移

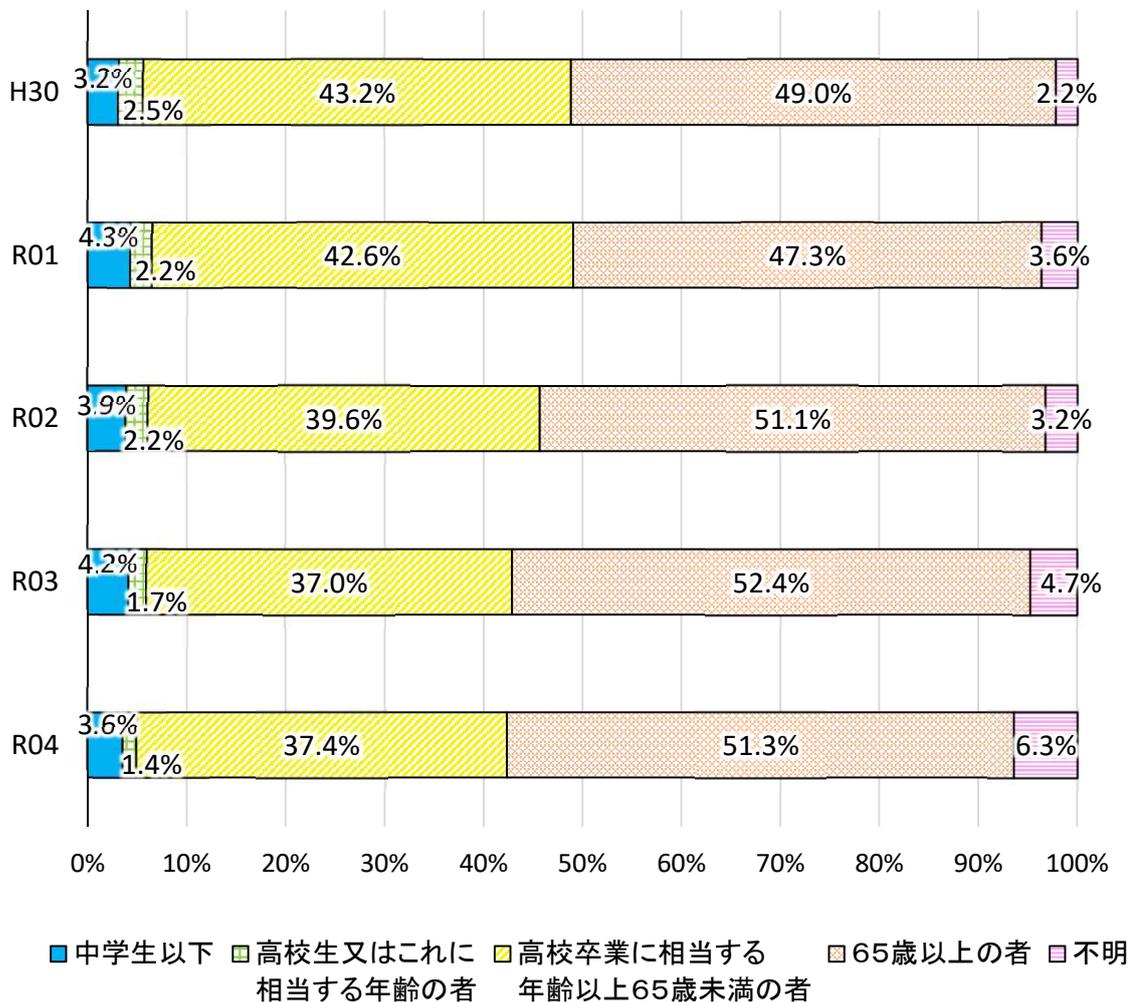


表5 死者・行方不明者の場所別数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	371	378	362	366	363	49.9%
河川	197	225	254	253	245	33.7%
湖沼池	51	23	34	53	39	5.4%
用水路	66	57	61	67	68	9.4%
プール	1	6	3	4	3	0.4%
その他	6	6	8	1	9	1.2%
合計	692	695	722	744	727	

死者・行方不明者の場所別構成比の推移

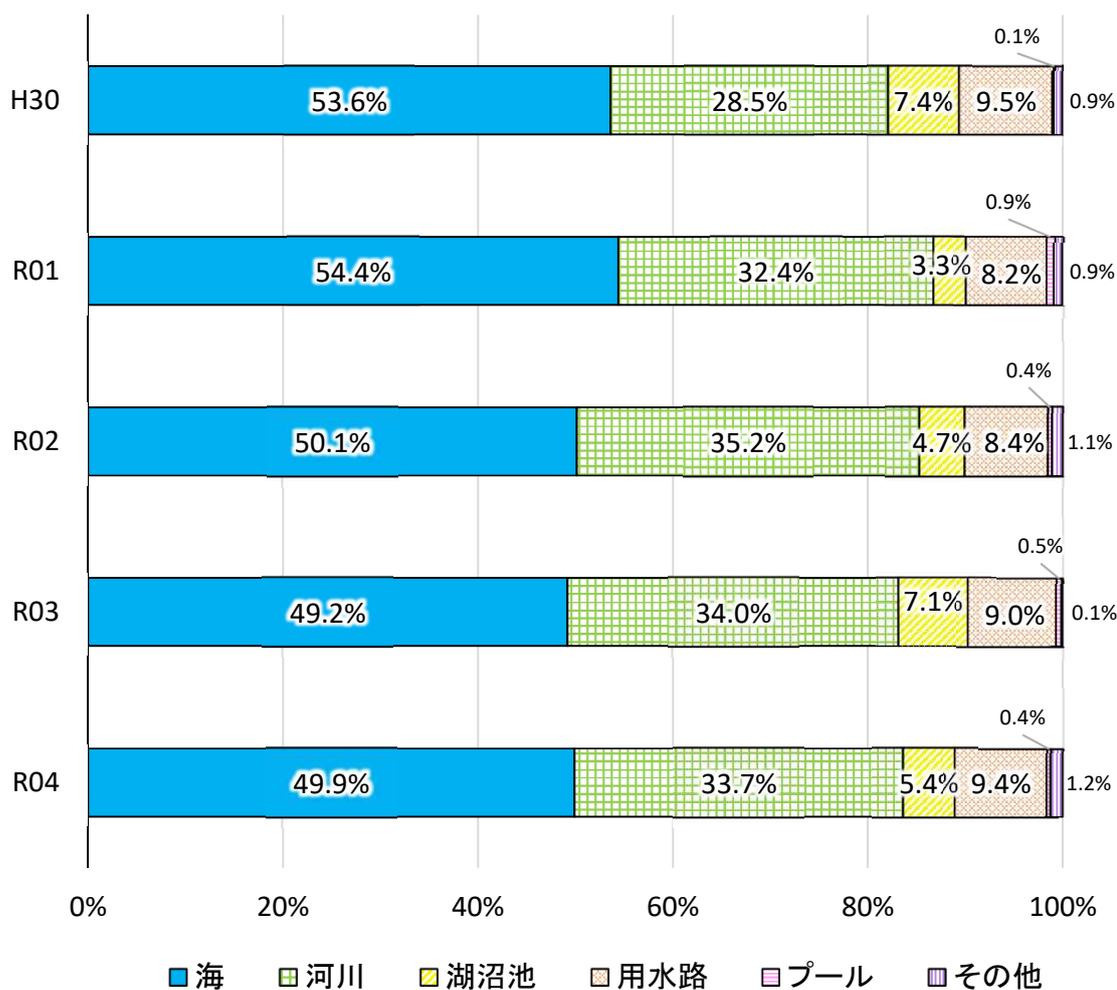


表6 死者・行方不明者(中学生以下)の場所別数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
海	3	9	5	5	4	15.4%
河川	10	15	18	18	14	53.8%
湖沼池	3	2	1	6	3	11.5%
用水路	4	2	3	2	4	15.4%
プール	1	2				
その他	1		1		1	3.8%
合計	22	30	28	31	26	

死者・行方不明者(中学生以下)の場所別構成比の推移

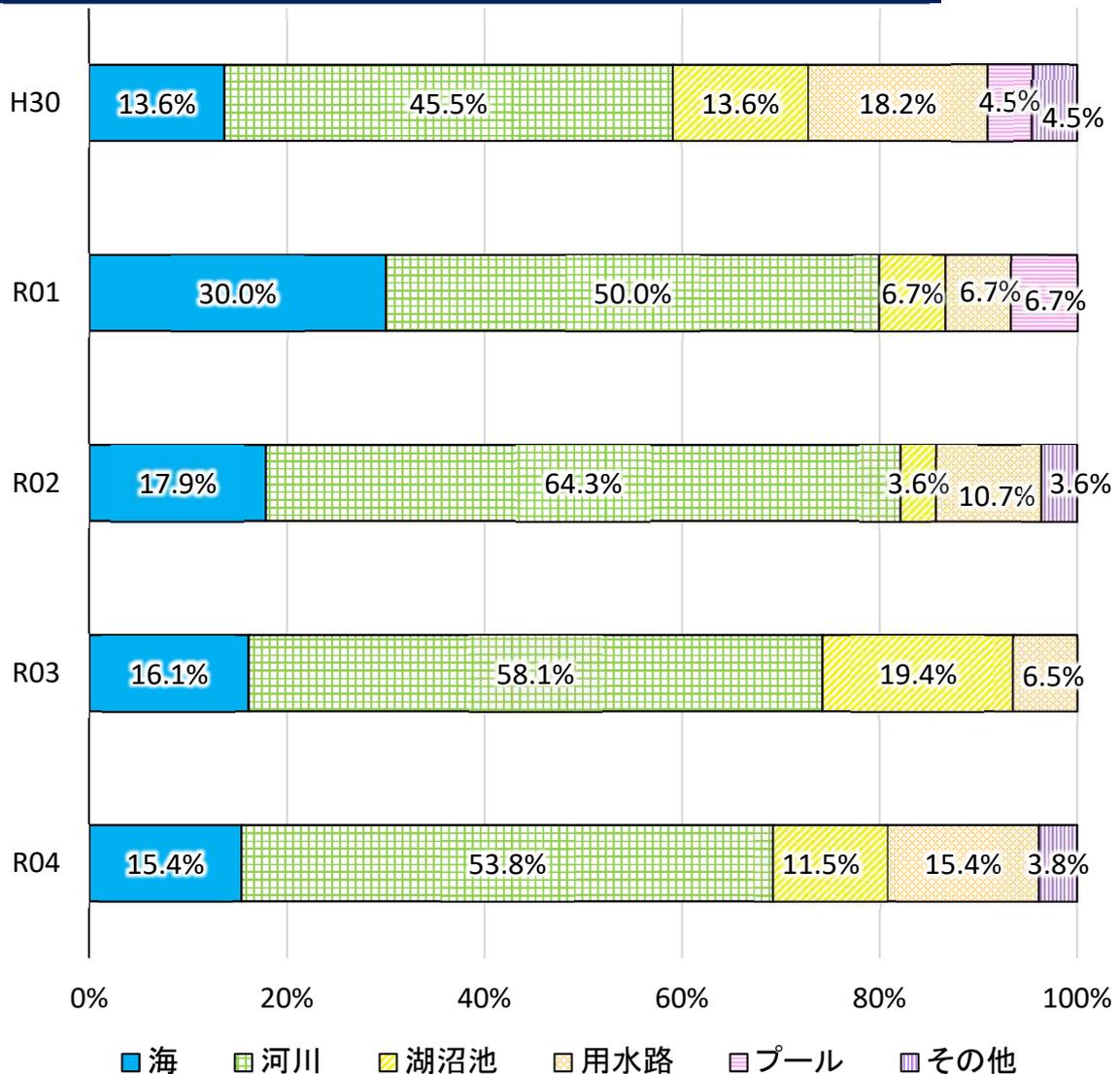


表7 死者・行方不明者の行為別数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	51	47	39	30	40	5.5%
水遊び	63	60	67	41	41	5.6%
魚とり・釣り	212	218	224	214	186	25.6%
作業中	56	38	44	37	46	6.3%
通行中	53	34	39	46	31	4.3%
その他	257	298	309	376	383	52.7%
陸上における遊戯・スポーツ中	4		1	6	5	0.7%
ボート遊び	8	6	8	7	12	1.7%
水難救助活動	11	10	5	11	12	1.7%
シュノーケリング	20	18	14	20	29	4.0%
スキューバダイビング	15	15	17	8	13	1.8%
サーフィン	12	16	9	18	13	1.8%
その他	45	18	29	20	26	3.6%
不明	142	215	226	286	273	37.6%
合計	692	695	722	744	727	

死者・行方不明者の行為別構成比の推移

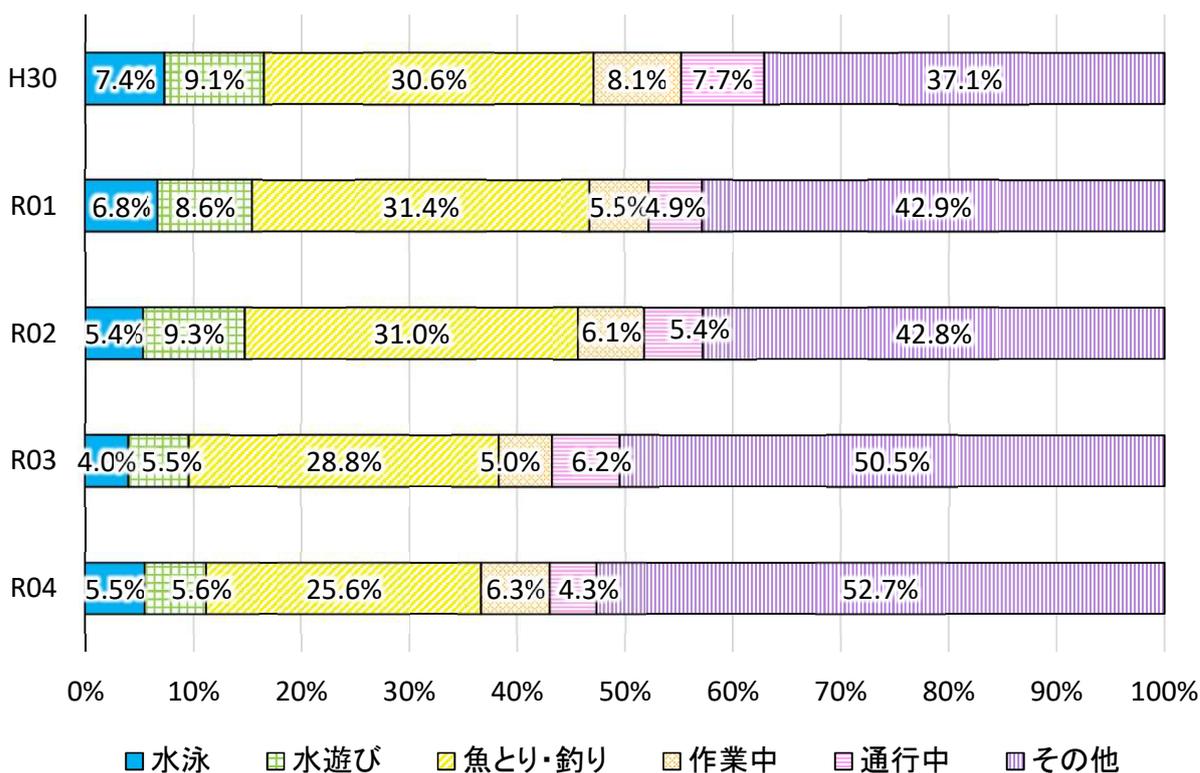


表8 死者・行方不明者(中学生以下)の行為別数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
	人数	人数	人数	人数	人数	構成比
水泳	6	2	5	4	2	7.7%
水遊び	11	14	13	15	11	42.3%
魚とり・釣り		3	4	2	4	15.4%
作業中						
通行中	1	3		1	1	3.8%
その他	4	8	6	9	8	30.8%
陸上における遊戯・スポーツ中	1			1	2	7.7%
ボート遊び						
水難救助活動						
シュノーケリング				1		
スキューバダイビング						
サーフィン						
その他	1	2	1		1	3.8%
不明	2	6	5	7	5	19.2%
合計	22	30	28	31	26	

死者・行方不明者(中学生以下)の行為別構成比の推移

